

平成30年5月1日

宮城県内貨物自動車運送事業者 各位

国土交通省東北運輸局宮城運輸支局

### 冷蔵冷凍車の冷凍機の保守管理等の再徹底について

冷蔵冷凍車の冷凍機の保守管理等の徹底については、平成28年10月5日付け宮運整第440号の2により周知を図ってきたところですが、平成30年2月7日及び3月23日に苫小牧-八戸航路のフェリー船内の甲板において、他局管轄の貨物自動車運送事業者が使用する停車中の冷蔵冷凍車から発煙する事象が立て続けに発生しました。

発煙した原因はいずれも、当該車両に搭載されている冷蔵機のコンプレッサーの振動によりリキッドインジェクションパイプ※に亀裂が生じ、加圧、冷却されたガスとコンプレッサーオイルが噴出したためです。

噴出したガスは不燃性ガスであることから発火することはないと冷凍機メーカー等関係者から報告を受けていますが、この事象によりフェリーの運航阻害に至る恐れがあり、また、冷凍機の機能低下等により積載物に被害が生じる恐れもあります。

このことから同種事案の再発防止のため、保有する冷蔵冷凍車の冷凍機について、コンプレッサー他各装置の取付け状態及び配管各部の損傷の有無等、冷凍機メーカーが推奨する点検（日常、定期、一定距離毎など）を専門業者に依頼等して適切に実施し、輸送の安全と品質の確保に万全を期すようお願いいたします。

※冷却されたガスをコンプレッサーに送る配管

宮運整第440号の2  
平成28年10月5日

宮城県内貨物自動車運送事業者 殿

東北運輸局宮城運輸支局長

### 冷蔵冷凍車の冷凍機の保守管理等の徹底について

平成27年7月31日、北海道苫小牧市苫小牧港沖45海里付近で発生した旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故については、運輸安全委員会において調査が進められ、平成28年9月29日、「旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故に係る船舶事故調査について（経過報告）」が公表され、本件冷凍機の内部において、モータの配線（3線）に、1つの配線の一部に短絡している痕跡が、また、その付近には切断した後に撚って結線された箇所及び1つの配線に断線している箇所が認められています。

当該火災事故については、出火元の特定及び出火原因の究明には未だ至っておらず同委員会による調査が続けられるところであり、また、このモータの配線の結線方法等と出火との因果関係も不明ではありますが、冷凍機を取り扱う専門業者においてはこのような撚った配線は一般的にはなされていないところです。

このような状況において、平成28年10月1日に函館港を出港したフェリーの車両甲板上で、東北運輸局管内の貨物自動車運送事業者が使用する冷蔵冷凍セミトレーラから出火するという車両火災事故が発生しました。幸いにも早期に消火作業が行われたことから、船体等への延焼及び負傷者の発生には至りませんでした。車両火災の原因については現在調査中ですが、事故速報では当該セミトレーラに備えられた冷凍機から出火したとの報告があったことから、火災事故の再発防止のため、下記のとおり、冷蔵冷凍車の冷凍機の保守管理等を適切に実施し、安全確保に万全を期すようお願いいたします。

### 記

1. 保有する冷蔵冷凍車の冷凍機について、適切な結線方法により配線されていることを点検すること。点検の結果、適切な結線方法により配線されていないことが確認された場合は、専門業者に依頼する等して適切に配線すること。
2. 冷凍機メーカーが推奨する点検（日常、定期、一定距離毎など）を、必要に応じ専門業者に依頼する等して適切に実施すること。
3. 冷凍機に関する電気配線の補修等を行う際には、専門業者に依頼する等して、適切な施工を確保すること。